

有機・バイオエレクトロニクスの新展開

本セミナーでは、有機・バイオエレクトロニクスの基礎的な学術性とこれからの応用展開性を議論することを目的としています。特に、材料やデバイス、プロセスなど幅広い分野における情報交換を行います。当該分野に精通している講師2名をお迎えし、さまざまなバックグラウンドをもつ聴講者に向けて最先端の研究成果を中心にご講演いただきます。

講師①: 福田憲二郎 先生 (理化学研究所) (15:30~16:10)



【タイトル】超薄型有機太陽電池を利用したオンスキン・ウェアラブルエレクトロニクス

【概要】非常に薄い基板を利用した有機太陽電池による発電技術を利用して、オンスキン・ウェアラブルエレクトロニクスを駆動するという取り組みを行っている。超薄型有機太陽電池のエネルギー変換効率改善、大面積化、応用に関する講演者の最新の取り組みを紹介し、可能性や課題について議論する。

講師②: 南木創 先生 (産業技術総合研究所) (16:15~16:55)



【タイトル】”はざま”をつくる・つかう：固液界面の精密制御による分子センサの開発

【概要】固液界面では非共有結合性の相互作用が増幅され、任意の分子認識場を構築することで有用な分子センサとして機能し得る。本講演では、固液界面の特徴をナノ～メゾスケールで制御するためのアプローチを概説し、本手法を通じて作製した分子センサによる種々のマーカーの検出結果について紹介する。

日時：2024年12月13日（金）15:30～17:00

場所：山形大学米沢キャンパス未来ホール（11号館2階）

方法：ハイブリッド形式（オンサイト+ZOOM）

申込：以下URL or 右QRコードより登録をお願い申し上げます。

なお、ZOOM情報は希望者に追ってご連絡致します。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfYdqGcikycqegP2lerj1z2cY78IHNJxGI1SVaP5DpEBEGrMw/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0>



お問い合わせ：tomohito@yz.yamagata-u.ac.jp

山形大学 大学院有機材料システム研究科 関根智仁